

Presented by PCee II for adult only

SEX ダイブ ビルダーズ

-SEX DIVE BUILDERS-



GBNに新たな不正デカールが出回っていた

ソレはエクスタシーデカールと呼称された特殊なバグで主に女の子ダイバーを狙って使用されていた

現実では体験できない超変態行為をGBNのシステムを利用し一部安全装置を解除し体験、悶絶させ楽しむというモノだった

GBN内での事なので身体に被害は無いと気軽に興味本意で誘いに乗る女の子が続出

またポイントの大量寄与などでも誘っていたようで、こちらのポイントは本物のためかなりの上位ランカーもコレを使用し変態行為を楽しんでいると推察された

運営は彼等をエロ・ダイバーと呼称し問題視し駆逐する事にした

しかし、時すでに遅しの感有りと思えるほどに…被害は拡大していた

そしてソノ被害はココ、ビルドダイバーズにも広がっていた

被害者：モモ (ビルドダイバーズ所属)



ポイントに誘われてモモはEXエリアに誘い出された
ソコには30人ほどのEX-D使用者エロ・ダイバー（つまり変態さん）がいた
ポイントは彼らが出し合った本物だった

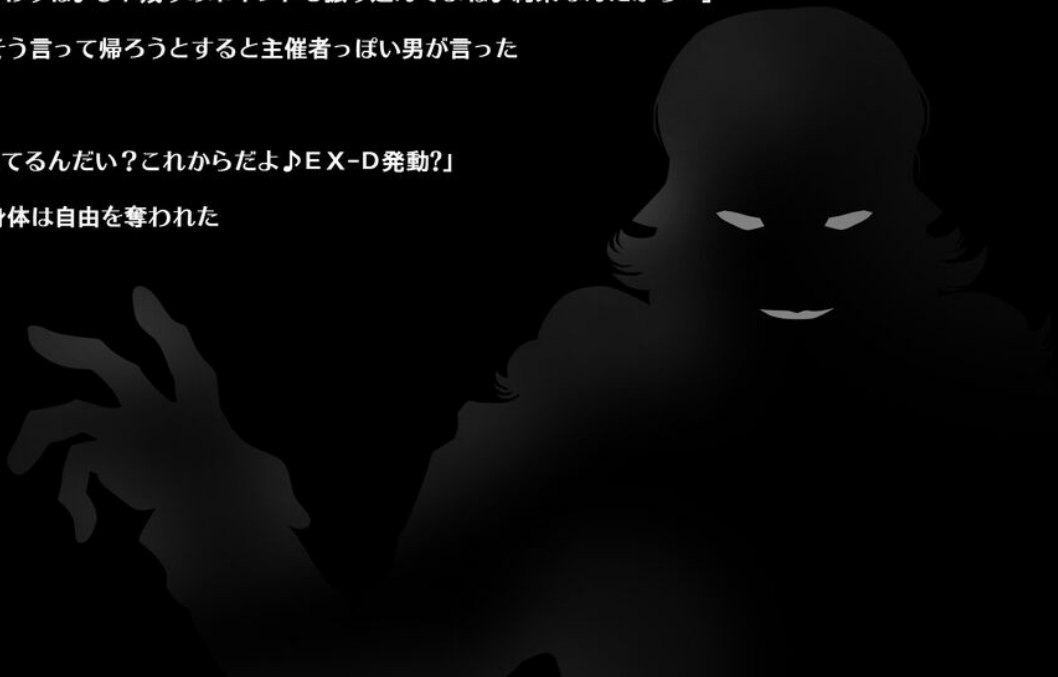
モモはソコで水着になり撮影会のような事をさせられていた

「これで終わりね♪じゃ残りのポイントも振り込んでよね♪約束なんだから…」

モモがそう言って帰ろうとすると主催者っぽい男が言った

「何を言ってるんだい？これからだよ♪EX-D発動？」

モモの身体は自由を奪われた





「何い？ちょっとヤダァ～動けないよぉ～コレどういう事？」
EXエリアでは変態さん達の人形だった…

更に身体が火照り始めた



「あああああん嫌あああああ〜」
モモは水着を脱がされた…

「おおっ♡」「マンコ凄く綺麗だぞ♡」

「どうやら♪きちんと指定した医療用のスキャナーも使用してダイブしてくれたようだね♪」

「馬鹿がまんまと引っかかりやがって♪お陰でテメェのマンコも正確に投影されているんだぜえ♥」
EX-D完全発動には精密な身体スキャンが必要だった

「嫌あああああ〜」

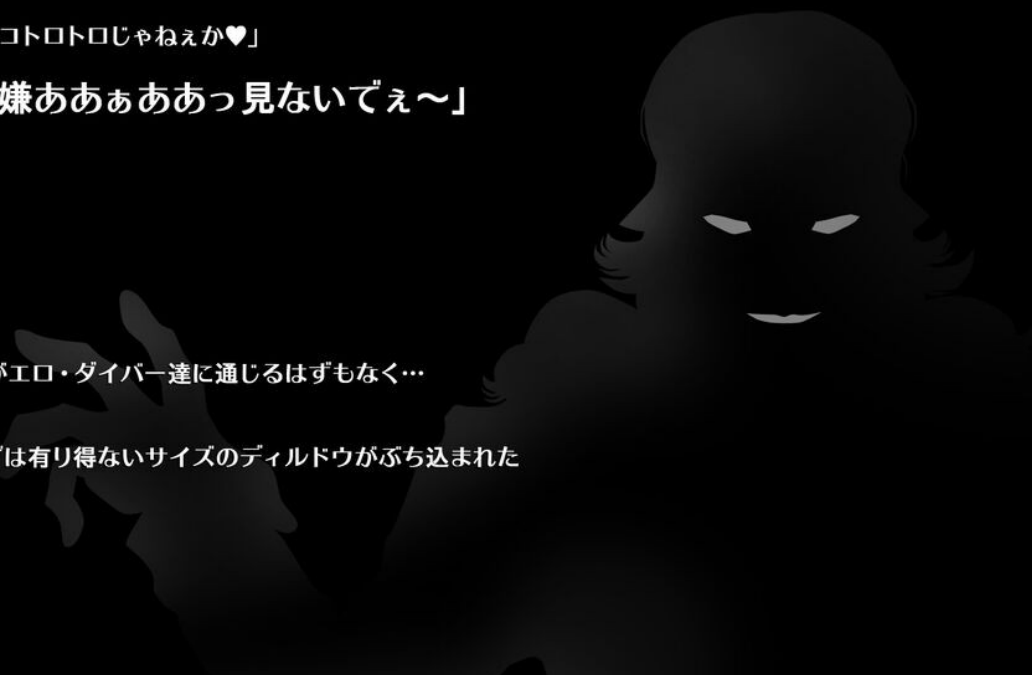
律儀にモモは（通常のガンプラに+して）指定されたソレも使用してダイブしていた
EX-Dの効果で感度も即効でMAXまで上がっていた

「もうっマンコトロトロじゃねえか♥」

「違っ嫌あああああっ見ないでえ〜」

そんな嘆願がエロ・ダイバー達に通じるはずもなく…

早速、現実では有り得ないサイズのディルドウがぶち込まれた





「ぎゃあああああああ〜」

「うひゃあああ♪いきなりい♥」「こいつ処女だろうにい♥」

「美少女の悶絶(´^`♪たまんねえぜ♥」

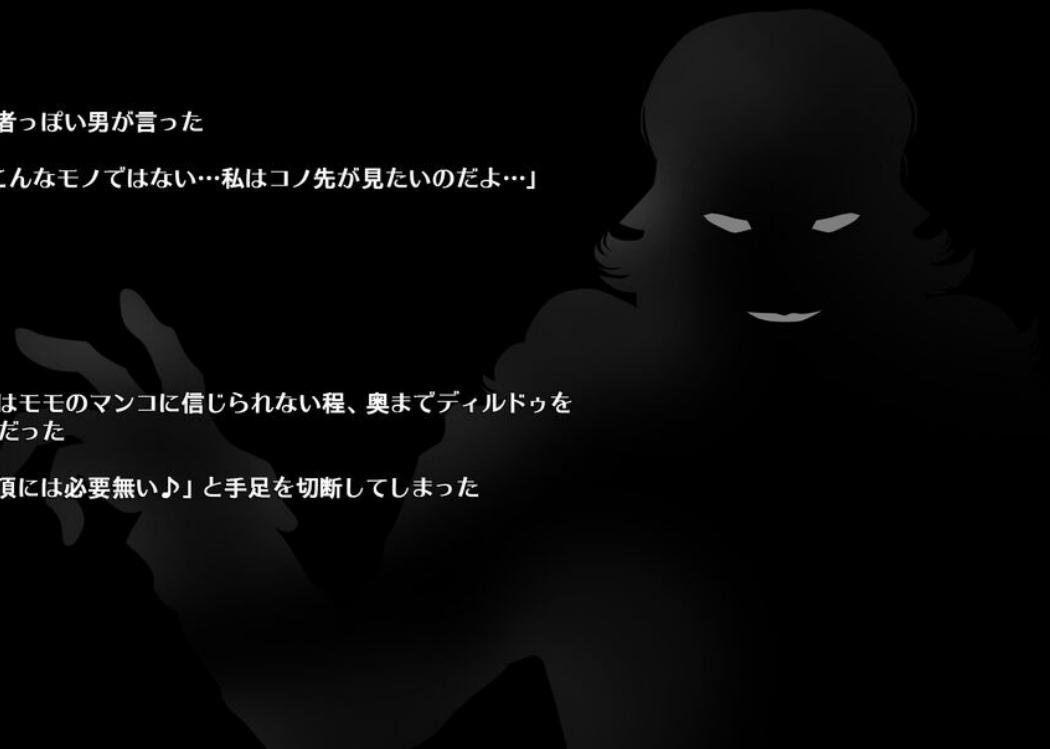
「まだC学生だろ♪この娘…いきなりコレはトラウマ確定だな♪」

だが、主催者っぽい男が言った

「まだまだ、こんなモノではない…私はコノ先が見たいのだよ…」

そして…男はモモのマンコに信じられない程、奥までディルドゥを挿入したのだった

更に…「絶頂には必要無い♪」と手足を切断してしまった





人とは思えない獣のような悲鳴を上げ悶絶するモモ
主催者らしき男の責めは続く



乳首、尿道まで犯され絶頂悶絶するモモ…

EX-Dの効果で激痛も快樂に変換して全身を駆け巡っていた

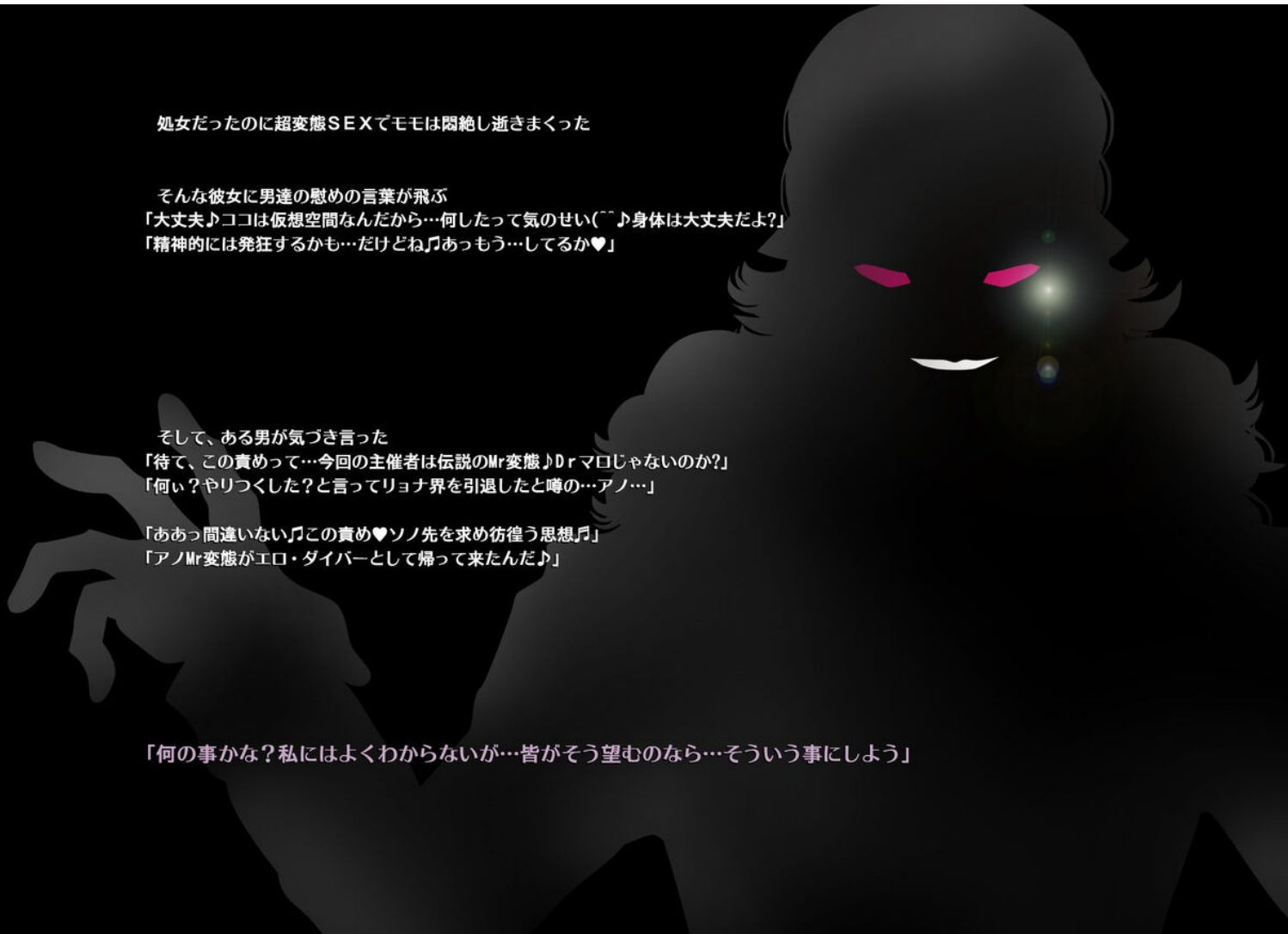
処女だったのに超変態SEXでモモは悶絶し逝きまくった

そんな彼女に男達の慰めの言葉が飛ぶ
「大丈夫♪ココは仮想空間なんだから…何したって気のせい(´▽`)♪身体は大丈夫だよ？」
「精神的には発狂するかも…だけどね♪あっもう…してるか♥」

そして、ある男が気づき言った
「待て、この責めって…今回の主催者は伝説のMr変態♪Drマロじゃないのか？」
「何い？やりつくした？と言ってリョナ界を引退したと噂の…アノ…」

「あっ間違いない♪この責め♥ソノ先を求め彷徨う思想♪」
「アノMr変態がエロ・ダイバーとして帰って来たんだ♪」

「何の事かな？私にはよくわからないが…皆がそう望むのなら…そういう事にしよう」





「うおおおっ！コレはあ～Drマロだあ～♪」
「間違いねえ～！」
「マロが帰って来たんだあ～♪」

「マァ～ロ♪」「マァ～ロ(≧▽≦)♪」「マァ～ロ♪」

男達は何故かむせび泣きながら歓喜した…変態妄想集団ココに極まれりw…であった

男も、その気になって更にモモを責め上げた

「クリトリス肥大化完了♪電極装着通電開始♪子宮内壁にも電極装着通電♪」*1
「尿道からカテーテルディルドゥ挿入!!精子&小便注入…膀胱爆散確認」*2

「卵管露出!!ディルドゥ挿入&ピストン卵管姦取行!精子注入…表皮微細切断手術成功
卵巣肥大露出痙攣確認♪」*3

「瞳強制開口♪上位交差症候群強制具喉から鼻孔に貫通…」*4
以上：*1～*4図解有り参照

「全ての責めをEX-Dパラメータ内に設定♪臨死絶頂後強制覚醒に設定♪」
「心拍とリンク…臨界突破絶命までリピート…EX-Dフルバーストスタート♪」

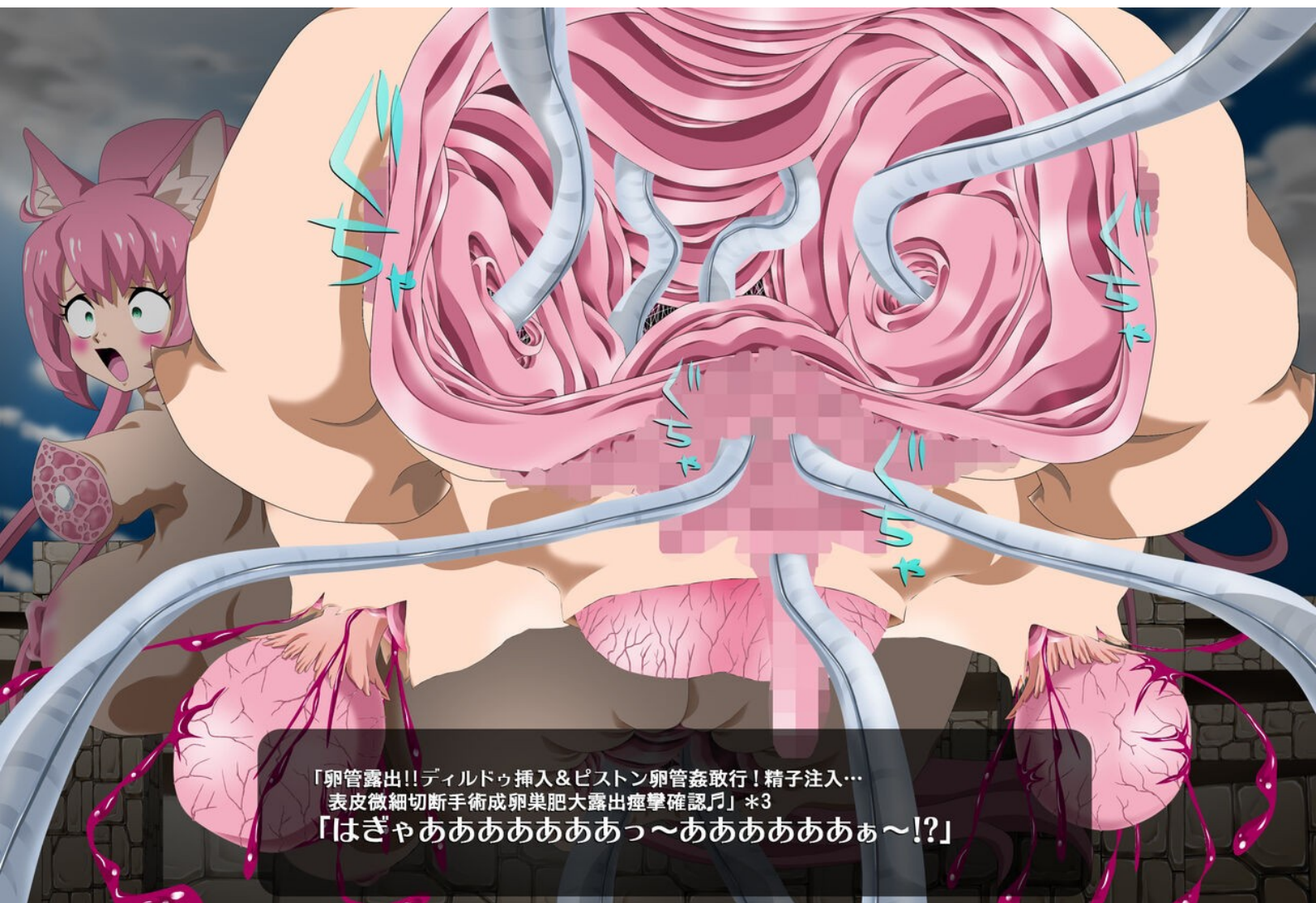


「クリトリス肥大化完了后電極装着通電開始后
子宮内壁にも電極装着通電后」*1



「尿道からカテーテルデイルドゥ挿入!!精子&小便注入…
膀胱爆散確認」*2 「卵巢姦取行♪」

「痛っ!?ダ…ダメエ～オマンコがあ私のオマンコがあ～!?!」



「卵管露出!!ディルドゥ挿入&ピストン卵管姦敢行!精子注入…
表皮微細切断手術成卵巣肥大露出痙攣確認!」*3
「はぎゃあああああっ~あああああ~!？」



本当死ぬわ
死んでいいわ

お願い
して

「かまわないよ、臨死体験しながら絶頂してくれたまえ…♥」
男はそう言って責め続けた
「嫌あああああああああああっ!？」

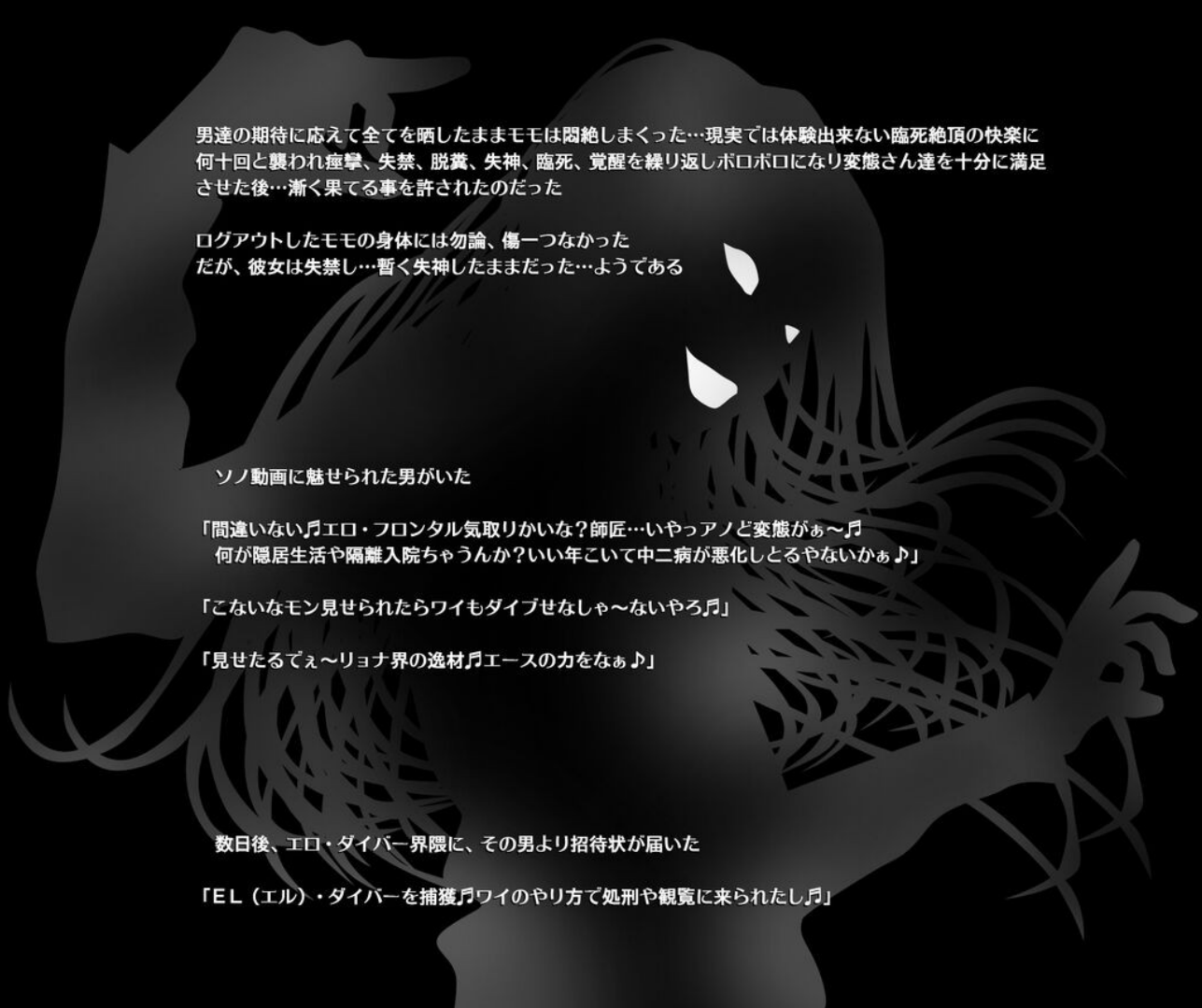


「瞳強制開口戸上位交差症候群強制具喉から鼻孔に貫通…」

「おおっ!!何だソレ!?新たなる指針か♪」「猫背矯正だとお!?!」
「健康志向(嗜好)かぁ!?!」(・_・)



モモはGBN内での全ての活動を停止した…絶命である



男達の期待に応えて全てを晒したままモモは悶絶しまくった…現実では体験出来ない臨死絶頂の快楽に何十回と襲われ痙攣、失禁、脱糞、失神、臨死、覚醒を繰り返しボロボロになり変態さん達を十分に満足させた後…漸く果てる事を許されたのだった

ログアウトしたモモの身体には勿論、傷一つなかった
だが、彼女は失禁し…暫く失神したままだった…ようである

ソノ動画に魅せられた男がいた

「間違いない戸エロ・フロンタル気取りかいな？師匠…いやッアノど変態があ〜戸
何が隠居生活や隔離入院ちゃうんか？いい年こいて中二病が悪化しとるやないかぁ♪」

「こないなモン見せられたらワイもダイブせなしゃ〜ないやろ戸」

「見せたるでえ〜リョナ界の逸材戸エースの力をなぁ♪」

数日後、エロ・ダイバー界隈に、その男より招待状が届いた

「EL (エル)・ダイバーを捕獲戸ワイのやり方で処刑や観覧に来られたし戸」

被害者：サラ (ビルドダイバーズ所属)





「これよりEL（エル）・ダイバーの処刑を敢行や♪」
「ハイ…皆さんのためなら…私は消えます…」
「いい覚悟や月その前にワイラを楽しませてや月」
「ハイ…お好きにどうぞ…」



「うおおおお♥いきなり素っ裸で拘束とは♪首謀者はどんな変態なんだあ♪」

「今回の首謀者はリョナ界のエース、
ACE・マスターらしいぞ♪」

「なんととお♪百年に一人の逸材がGBNに降臨かよ♪」

「だが…どうやってサラって子を拉致ったんだ？
確か運営に捕獲されていたはず…」
「ダイバー不明のブリッツガンダムのカスタム機に攫われたって運営が騒いでいたぞ」

その通りであった愛機マスターブリッツ
(ビルダースキルによる超高性能機ブリッツガンダムのカスタム機)
を使いサラの拉致に成功していたのだった

「凄腕のガンプラ・マスターでもあるとの噂は本当だったのかあ♪」

「うおおおおおおっ♪こいつは凄い責めが見れそうだぜ♪」

「マイスタァ♪」「マイスタァ(≧▽≦)♪」「マイスタァ♪」

期待に胸を膨らませた変態さんが多数詰めかけたE X-エリアは大いに盛り上がっていた

その中にはモモ蹂躪の首謀者、Mr変態の姿もあった

「来たか♪エロ・フロンタル気取り…」

「それは私の事かな？君は誰だ？」

「そりゃないでえ～師匠!?ワイや!!百年に一人のリョナ界の逸材…」

「…その希少さ…

ソレは一般的に只の変人と言うのではないのか？」

「アホカァー!!

あんさんダケには言われとないわ(;・`Д´・)

Mr変態とか言われとる、あんさんダケにはなぁ～!!」

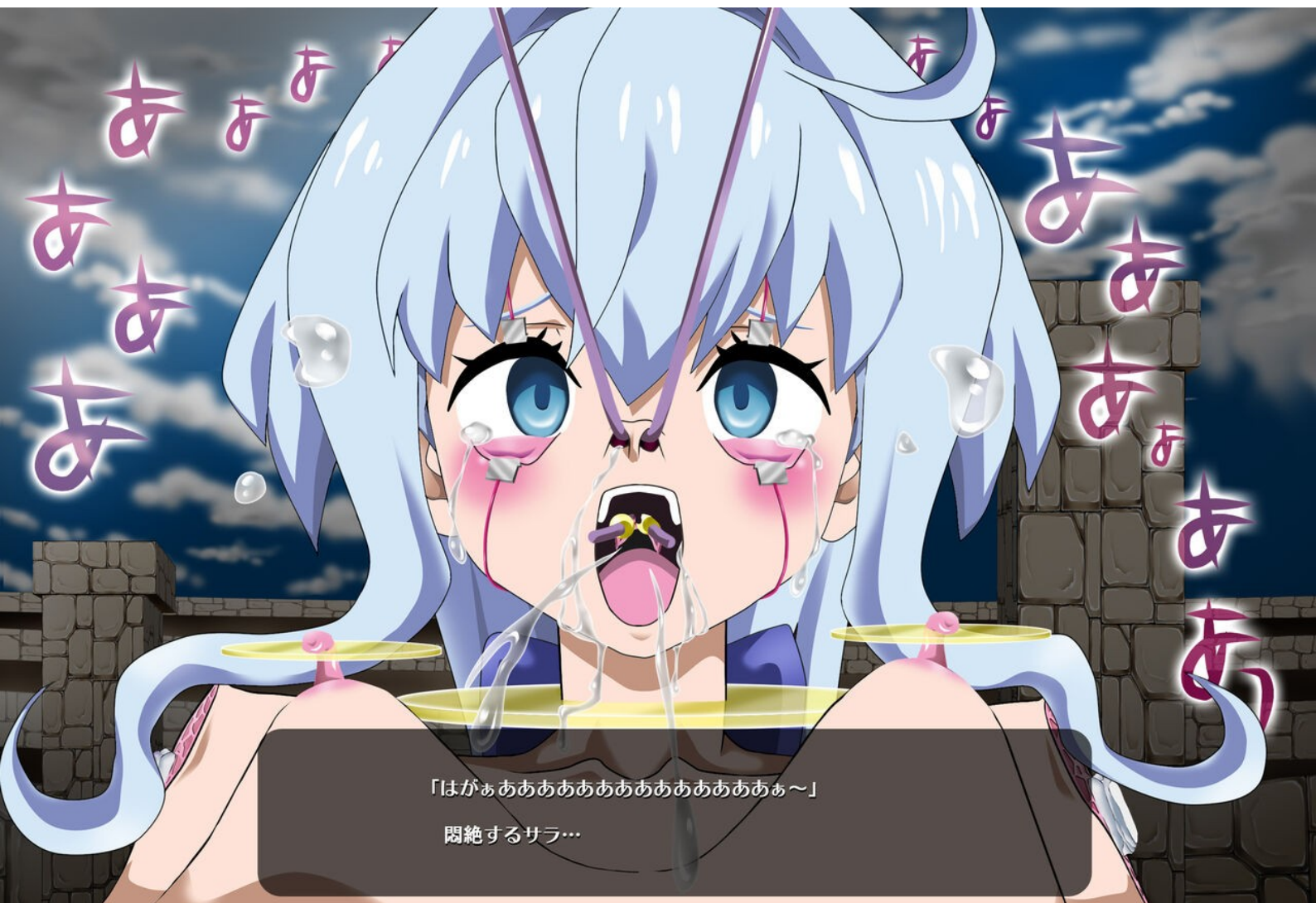
「うおおおおっ♪伝説の二人の掛け合いだぁ～」

「感動だぁ～♪」

変態さん達の思考は常人には理解不能であった



男はサラの手足を切断し超巨大デイルドゥを容赦なくぶち込んだ
「おおっ♪いきなりかよ〜」「スゲー♥」
「超巨大デイルドゥを完全自作だとおい」
「ワイは苦痛に歪む顔が見たいんや♪ぼなっ行くてえ〜」



「はがぁあああああああああああああ〜」

悶絶するサラ…



「おおおっ♥スゲー♪」(≧▽≦)

「美少女の顔面崩壊♥コレだよコレえ〜♥」

「やるなっ♪」

「更に出来るようになった…最早、私では…いいやっまだ…私とて…」

エロ・タイパー達が歓喜し驚愕の声を上げる…
ソレを遮るように主催者の男が言う

「まだまだやっワイがこんなモンで満足する訳無いやろワ」

「よう見ときワワイがソノ先を見せたるわ〜」

「なんとお!?!」

「馬鹿な!?!まだコノ先が在るだと…」

「処刑やあ♥」



「うおおおおおっ♪」「すげー♥」「惨過ぎい〜♥」

首謀者は処刑を敢行した…だが

「…!?!」

「ちょっと待てえ!?!今、彼女笑ったぞ!?!」

「本当だ!!こちらに微笑みかけてる!!」

「馬鹿な!?!有り得ん…彼の責めは完璧を超えるモノ…ここまですたら完全に絶命し…
電子生命体である彼女は消滅するはずではないのか…?!?!」

「な…何でや…有り得へん…」

戸惑うエロ・タイパー達にサラが言った
「私は、タイパー達の溢れる愛で作られた存在…私は今…皆さんのリョナへの愛で存在しています」

「うむ…これが…リョナの可能性だということか…」

「うおおおおおっ♥」
「生きるリョナの女神像の誕生だ♥」

「マイスタァ♪」「マイスタァ(≧▽≦)♪」「マイスタァ♪」



処刑は新たなる女神を生みエロ・ダイバーを狂喜乱舞させ…
その幕を閉じたのだった

処刑は完了した…だが、サラは消える事はなく…
そのままの姿でソコに偶像崇拝の対象として設置（放置）されたのだった

エロ・ダイバー…
その行動様式は、やはり常人には理解不能であった

シンボル（サラ女神像）を得て勝手にGBN内において市民権を得たと
勘違いした彼等は活動を活発化させた



隠れ家としているサーバーで破壊しオブジェと化した女の子を
大勢が集う一般サーバーに晒し者にしたのだった

「きゃあああああ～何いコレエ～!？」
「エロ・ダイバーの仕業かあ!？」
次の被害者はチーム・アークエンジェルズより出た



(違うのお…嫌あ…見ないでえ…)

「スゲーまだピクピク生きてるぜ…」

「コレがエクスタシー・デカールの効力か!?!」

被害者：ステア (アーケエンジェルス所属)

「嫌あああああ～助けてえ～カナリィ～」

彼女は発狂しながら親友の名を呼んだ…しかし、その親友も

ステアが名前を呼んだ同じアークエンジェルスに所属する
親友のカナリもまた、既に破壊され…別の場所に吊るされていたのだった

「うわあああっ!?!何だあアレエ~!?!」

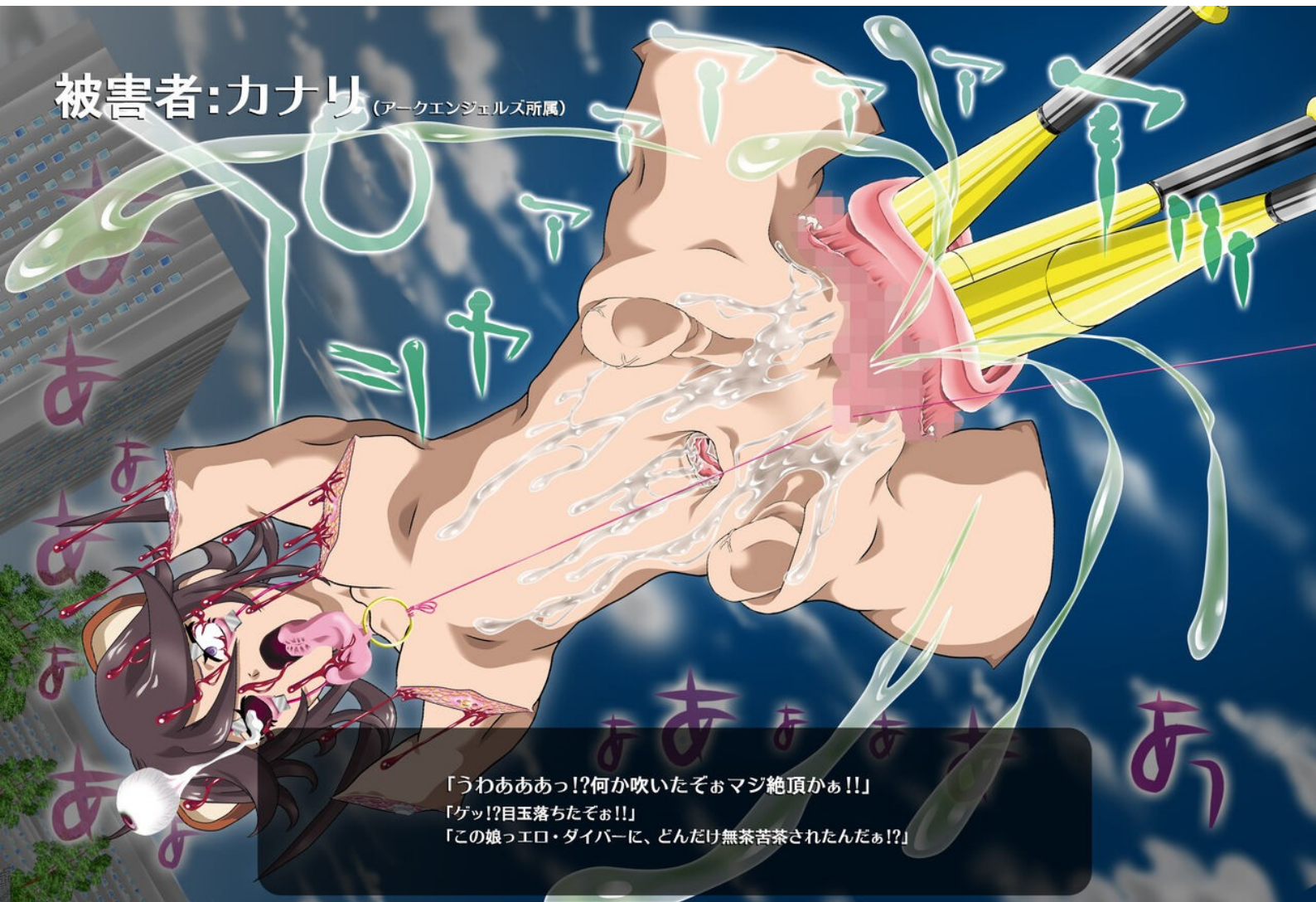
(ステア…ゴメン…私…もうっ…駄目え…)



(あ…あああああ…嫌あ…皆っ見てるのに…いっ…逝くう…)

「スゲーこの女、この状態で逝ってんじゃね!?!」
「流石EX-Dを使う様な女♪とんでもねえト変態じゃん♥」

被害者:カナリ (アーケエンジェルス所属)



「うわあああっ!?何か吹いたぞおマジ絶頂かぁ!!」
「ゲッ!?目玉落ちたぞお!!」
「この娘っエロ・ダイバーに、どんだけ無茶苦茶されたんだぁ!?!」

被害者：ナミ (ヒルトダイバーズ所属)





まだダイバーとして日の浅い彼女はGBNの現状をよく把握できておらずポイントに釣られ
あろう事か、グロ・ダイバーの誘いに乗ってしまったのだった

「おおおっ♪スゲー可愛いぞ♥」「スタイルたまんねえ～(≧▽≦)」

(うわぁ～凄く嫌らしい目でみられてるぅ～キモ～キモ過ぎるぅ～)

「Dr&マイスター、ここは我々に、おまかせください♪」

「ええでえ♪なあ」 「ああつかまわんよ」

(でも、まあいいか…どうせGBN内の事だし…何か面白いし…)

彼女は大人なのでヌード撮影くらいは興味本位で覚悟していた
仮想空間での事と気軽に乗ったのだが

その想定したエロ行為は最初の一撃で凌駕されるのだった



「いきなり素っ裸手足切断極太チルドウ挿入ポーズ♪キタァ～」
「戸惑う表情がたまねえ～♥」

(なっ…何い!?…いったい何なのお…これ!?)



「ヤベッ♪乳首千切れちまった♥DrマロやACEマイスターみたいにはいかないな〜♪」

「いやっ♪素晴らしい」 「あぁ♪これはこれで凄いいいでないか♪」

「ハイ♪お褒めいただき光荣です♪」

(嘘よ…こんな事…あっていい訳が…無いわ…誰か助けてえ…お兄ちゃん…)

グロ・ダイバー達の玩具にされ悶絶するナミ…



「うおおお♪スゲー♥全体液噴出&脱糞絶頂♪キター」(≧▽≦)/
「♥♥♥美人お姉さん木っ端微塵♥♥♥」

「うおおお♪スゲー♥現実では有り得ない
快楽で美人お姉さん失神崩壊絶頂♪」

「生きた死体みてえ♪たまんねえ〜♥」

「リヨナ万歳♪」(≧▽≦)/

「おおっ♪〜皆、ヤルやないかぁ♪さぁ次の獲物の物色やぁ♥」

「ふっ♪まだだっまだ、終わらんよ♪」

「おおおっ♪」(≧▽≦)/



その動画を見て憤慨する女の子ダイバーが一人
「ナミさん…まで…グロ・ダイバー共があもうっ…絶対っ許さない…」



調子に乗ったグロ・ダイバー達の愚行を粉碎すべく
彼女は行動に出たのだった



被害者：アヤメ (ヒルドダイバース所属)

彼女は運営と共闘し、その身体にアンチ・EX-Dパッチを装備し囷捜査に着手したのだった

だが、運営内にも（下っ端にてはあるが）EX-D使用者が潜伏しているらしく潜入捜査官である事は最初から知られていた

グロ・ダイバー達がこんな美味しいシチュエーションを逃すはずも無く…
アヤメは、まんまと捕らえられ拷問されるのだった

「運営はどこまでEX-Dの事をつかんでるんや？」



「そんな事、知らないわ…例え知っていたとしても貴方達なんかには話す訳ないでしょ…」

「おおっ♪素っ裸キター(≧▽≦)」 「ソノ強気が、たまんねえ♪」



「察するに…彼女にはパッチを当てて探索させている状況からEX-Dを無効化する修正パッチの製作は進行しているようだが、ココや使用者の特定には至ってないといったところか…」

「ならば、今の内に十分に楽しませてもらうてはないか♪君の身体で」
「せやな♪そんなパッチ、ワイが外したたわ♪さぁどこまで耐えられるか？見ものやな♪」

「おおおっ！Mr変態&リョナの逸材の共演だぁ♪」



「うおおっ!いきなりい♥」
「切断&全穴キター」(≧▽≦)/



「お願い〜もうっ許してえ〜何でも話しますう〜」
「もうっgive upかよ♪」「くノ一拷問戸たまんねえ〜♥」
アヤメは知っている情報を全て話した…が、グロ・ダイバー達が許すはずもなく

「ぶっ壊す前に各*チンブラ*でヤッチャテもいっすか♪」「俺ら、もうっ我慢出来ねえ〜♪」
「そ…そんな…話が違う…」 「せやな♪ろくな情報なかったし〜」
「かまわんよ♪好きにしまえ」

「嫌あああああああああっ!?!」

*チンブラ*とはガンブラならぬチンポ、プラモの略であるエロ・ダイバーはカスタマイズした自らのチンブラを所有w

今回の拷問イベントには50人程が参加していた…そのグロー・ダイバーのチンプラが
アヤメに襲い掛かった

アヤメの全穴は彼等の性処理玩具と化した

拡張されたマンコは子宮内はおろか卵管、卵巣にまで侵入をゆるした
口、アナル、ニプル（乳首）、尿道、そして膣にまで挿入された

それら全てを同時に犯されるというリアルでは有り得ないプレイにグロー・ダイバー達は
狂喜乱舞した

アヤメは、その廣った想いを一人でその身体に受け止め悶絶するのだった



チンプラは各グロ・ダイバーの神経と直結していてアヤメの性器の感触を伝える
「子宮姦とかたまんねえ～感触だぜえ～♥」 「乳房もいい♥」
「尿道も最高締まってやがるう～♥」 「俺様は膣姦だぜえ～♪」



アヤメの絶頂に合わせる様にグロ・ダイバー達は一斉に射精した
「気持ちいい〜♥」 「集団くノーFUCK最高お♥」
「いっ…逝くぅううう!!またっ…逝くぅううう〜!♪」



アヤメは精子を垂れ流しながら半失神状態で許しを請うた
「もう…無理い…お願い…許ひれ…くらひゃ…い…」
「まだまだあこれからなんだよ♥」
「寝てんじゃねえよ♪もっと楽しませろよ♥」

グロ・ダイバー達はアヤメとの超変態SEXを楽しみ次々に射精して逝った
彼等はリアルでもコックピット内で大量に夢精（射精）していた

リンクは完璧に機能しているようだった

「次は俺、卵管入れます♪」「じゃ俺、尿道♪」
ソレは一、二度では治まらず何度も繰り返された

「んぐううううううう!!」
(もう…………無理い…………誰か…………助けてえ…)

その感覚はEX-Dの効果もありアヤメに凄まじい快樂をもたらした…

結果、リアルの彼女も彼等グロ・ダイバー同様にコックピット内で
失禁し大量の愛液を垂れ流していた

その超変態SEXは凡そ12時間にも及んでいた
それは栄養無補給ダイブ…通称：無酸素ダイブの臨界点だった



アヤメは完全に失神していた
だが、これで終わるはずも無く…



責めはまだ続くのだった

「ああっ出した出したぁ♪」「俺なんか9回も出しちまった♪」
「超変態SEX♪最高だったぜアヤメちゃん♪」
「こいつコレで、まだ生きてるんだぜ♪どんな気分なんだろうなぁ♪」

グロ・ダイバー達は存分にアヤメの身体を堪能した…そして

「いよいよ、アノ二人による女忍者解体ショーだぜ♪」
「たまんねえ～ぜ♪」

「おいおい♪マンコ…子宮を裏返して出すやて♪
あんさんどんだけやねん♪」

「ソレもコレも君のビルダーとして
プログラマーとしての技量があればこそだよ♪協力に感謝する♪」

「へっほなっ行くてえ～」

「ああっ♪」



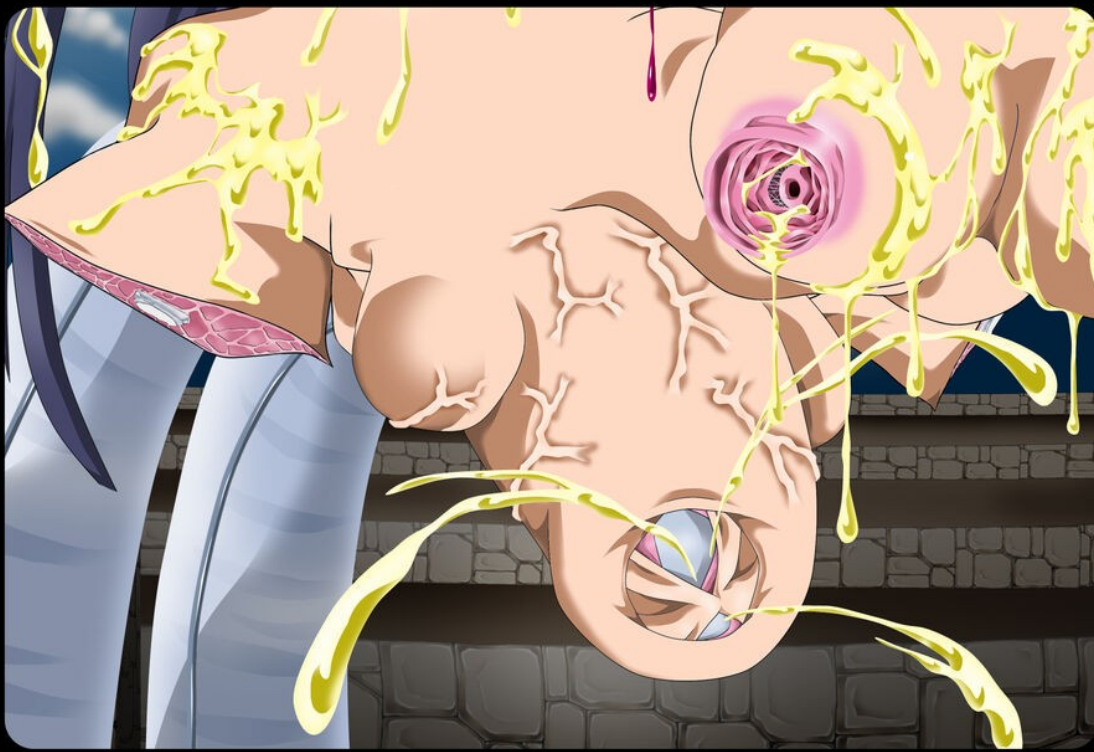
「ひぎゃあああああああ～何い!？」

失神していたアヤメが飛び起きた

「ぐえええええええ～!?!」

アヤメが人ならざる悲鳴を上げ悶絶した

マンコに再び超巨大ディルドウが
挿入されたからだ…



ソレは
子宮内にまで進入し
射精?した

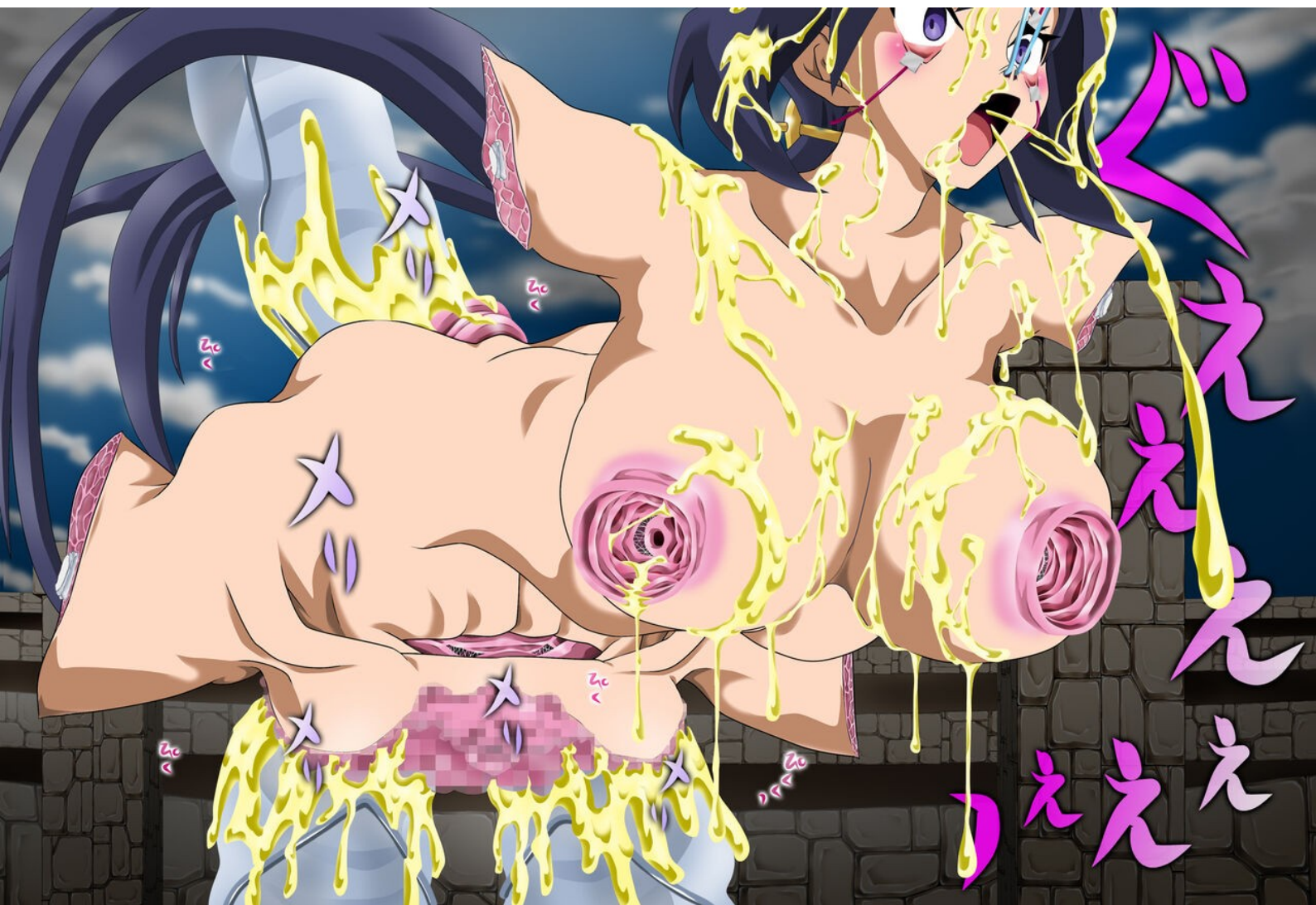
射精と言っても
精子ではない

スライム状の液体を
大量放出し…
内壁に固着させたのだった

そして…

ソレは、ゆっくりと
引き出された

アヤメのマンコと
共に…





「スゲェ〜♪オ…オマンコがあ!？」

「全部っ出ちまったあ〜♥」



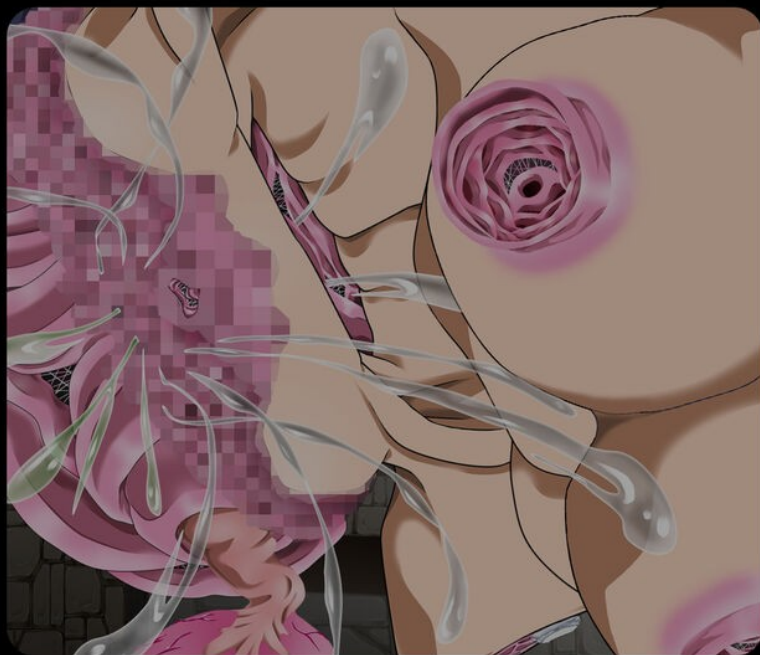
「マンコだけじゃねえ♪顔面も崩壊だぁ〜♡」
「美少女がボロボロだぜえ〜♡♡♡♡」

「はあ…逝ぐう…誰か…助けれえ…」

「スゲー～♪まだ生きて逝ってやがる♥」「コレがMr&マイスターの競演か～♪」

「あああ…ああああああ…あああ……」

「正に芸術だあ～♥♥♥」



「どやっ♪コレが
ワイらの答えや～♪」

「いやっ君のだろ…
私は関係ない
器にすぎない…」

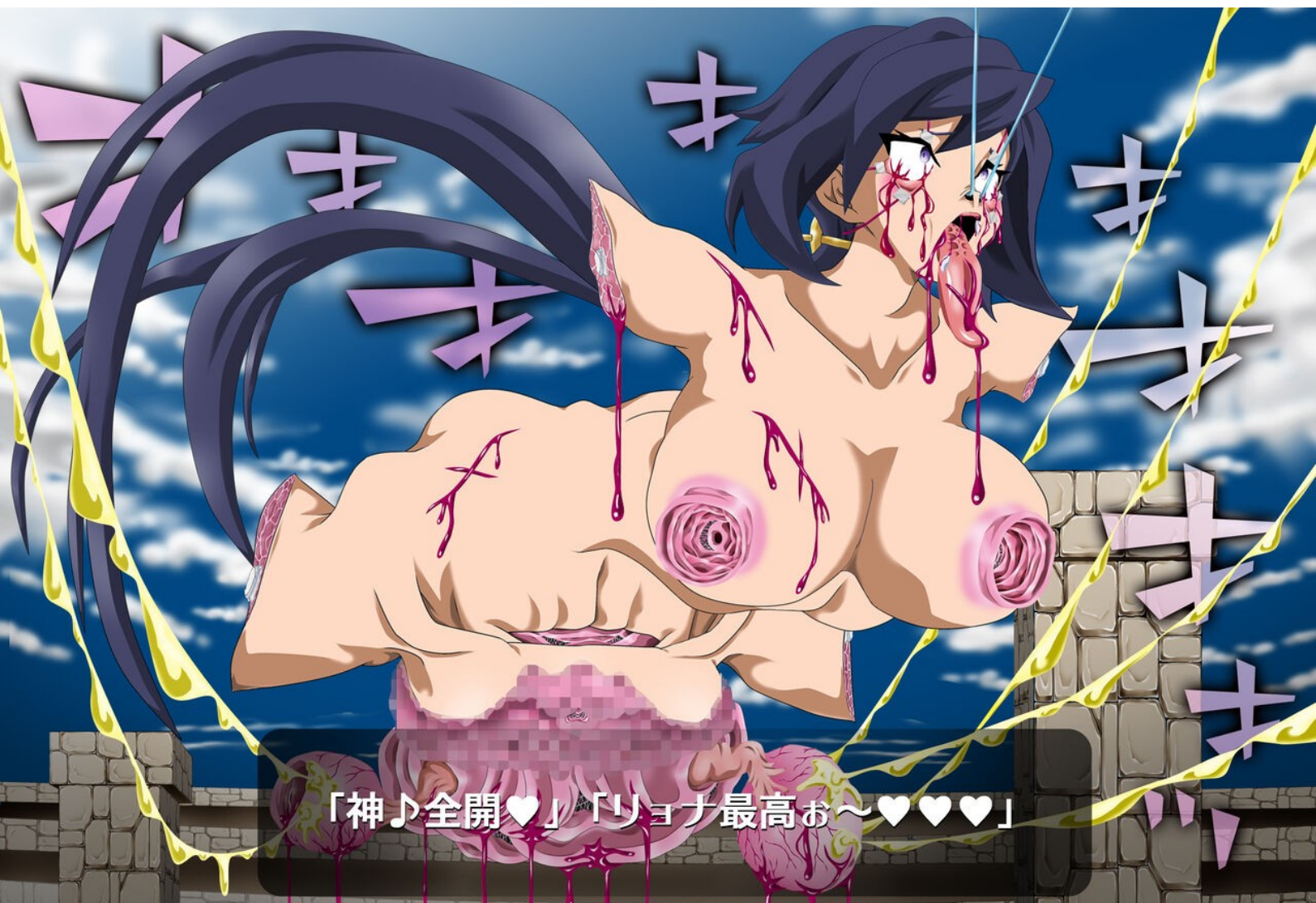
「あっ責任転嫁する気か
ずっこいぞテメェ～」



「伝説の二人の掛け合いだあ～♪」

「うおおおおおおおっ♪」

アヤメ拷問は大盛況の内にその幕を閉じたのだった



「神♪全開♥」「リョナ最高お〜♥♥♥」

運営の密偵だったアヤメも退け当分EX-D（エクスタシーデカール）はGBN内で
猛威を振るうと思われた…が、思わぬ事態が発生しソレは自滅した

副作用があったのだ

使用して快楽を得たグロ・ダイバーの首謀者二人が機能不全になり
再起不能でGBNを去ったとの噂が流れたのだった

事実アレ以来、二人のログインは確認されなかった
二人は伝説となり消えたのであった

「これが運命というモノか…」 「アホカ～そんなモンになりとうないわぁ～」

コレにビビってグロ・ダイバー達はEX-Dの使用を自主規制したのだった
（一般のエロ・ダイバーもコレに習った…）

こうしてエロ・ダイバーの自滅によってだが、GBNには平穏が戻ったのだった

□■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

だが、一部リアルの世界で問題は継続していた…（自業自得の変態はどうでもいいとして）

「コラァ～何でやぁ～」

そうっ後遺症に悩むモノは他にもいたのだった



「アヤさん♪私達もう…普通のSEXじゃ…」

「モモカア♪満足できない身体なのよね…」



「誰かぁ♪誰でもいいのお♪
私達のオマンコ、ぐちゃぐちゃにしてくださいい～♪」
「連絡待ってまあ～す♪」



「逝くううううう〜♥」(≧▽≦)/

彼女達は今日もSEXダイブ・ビルダーズとして…リョナで鬼畜なご主人様を求め彷徨うのであった

おわり

Thank you very much

企画/監修：春画屋 磨。

イベント日：2018/10/07

BOOTH頒布開始日：2018/11/01

製作/発行 18禁同人製作工房 KAKInoBOO

制作：レーベル **PCee II** ピーシーズ

当サークルへの感想等は、下記の絵ノ本致儀のHPへお願いします

kaki-pee.com

kakipee2006@yahoo.co.jp

著者および発行者の許可なく本誌の一部および全部を転載、複製することを禁じます。
本誌は、成人向けです。18歳未満の方の購入はお断りします。



「更に出来るようになったな♪」

「ACE・マイスター」

「何がエロ・フロンタルや♪中二病全開やな♪」

「Drマロ」(≧▽≦)

なお、この作品は実在の人物、サークル等とはまったく
関係ございません全てフィクションです

あしからずw

Presented by PCee ll for adult only

SEX タイプ ビルダーズ

-SEX DIVE BUILDERS-



FIN







